

ムギ類赤かび病情報第1号

平成22年4月5日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

ムギ類の赤かび病は、出穂期から乳熟期にかけて気温が高く、降雨日数が多いと発生が多くなる傾向があります。多発すると収量や品質が低下するだけでなく、かび毒による汚染を生じるおそれがあります。

本年の平均気温は2月中旬までは平年よりもやや低めに推移しましたが、2月下旬から3月中旬まではかなり高く推移しました。「麦作管理支援情報第4号」（平成22年3月30日、企画普及部広域指導グループ発表）によれば、11月10日に^は出芽したイワイノダイチでは、すでに出穂期を迎えており、農林61号でも出穂期は平年よりも4日程度早くなると予測されています。

感染予防のための防除適期は、穂ぞろい期から開花初期までで、出穂から3～4日後に当たります。早い時期に^は播種したイワイノダイチではすでに出穂期を迎えています。11月中下旬^は播種の農林61号の出穂期は4月15～16日頃になると予測されますので、適期に防除ができるよう、下表を参考にして防除の準備をしましょう。

なお、排水不良のほ場では、赤かび病の発生が助長されますので、排水溝の手入れなどを早急に実施しましょう。

ムギ類赤かび病のおもな防除薬剤

| 作物名 | 薬剤名 | 使用時期 | 希釈倍数 | 本剤の使用回数 |
|-------------|-------------|----------|------------|---------------------|
| 麦類 | トリフミン水和剤 | 収穫14日前まで | 1000～2000倍 | 3回以内 |
| 麦類 | ワークアップ乳剤 | 収穫14日前まで | 1000～1500倍 | 2回以内 |
| 麦類 | 石灰硫黄合剤 | - | 100倍 | - |
| 大麦 | チルト乳剤25 | 収穫21日前まで | 1000～2000倍 | 1回 |
| 大麦 | シルバキュアフロアブル | 収穫14日前まで | 2000倍 | 2回以内 |
| 小麦 | ベルコート水和剤 | 収穫21日前まで | 1000～2000倍 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) |
| 小麦 | ベフラン液剤25 | 収穫14日前まで | 1000～2000倍 | 3回以内(但し、出穂期以降は1回以内) |
| 小麦 | ストロビーフロアブル | 収穫14日前まで | 2000～3000倍 | 3回以内 |
| 小麦 | トップジンMゾル | 収穫14日前まで | 1000～1500倍 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) |
| 小麦 | シルバキュアフロアブル | 収穫7日前まで | 2000倍 | 2回以内 |
| 小麦 | トリフミン乳剤 | 収穫3日前まで | 1000倍 | 3回以内 |
| 小麦 | チルト乳剤25 | 収穫3日前まで | 1000～2000倍 | 3回以内 |
| (無人ヘリコプター用) | | | | |
| 大麦 | チルト乳剤25 | 収穫21日前まで | 8倍 | 1回 |
| 大麦 | シルバキュアフロアブル | 収穫14日前まで | 16倍 | 2回以内 |
| 小麦 | トップジンMゾル | 収穫14日前まで | 8倍 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) |
| 小麦 | シルバキュアフロアブル | 収穫7日前まで | 16倍 | 2回以内 |
| 小麦 | チルト乳剤25 | 収穫7日前まで | 8倍 | 3回以内 |